

令和5年度

長岡市社会資本総合整備計画等 評価委員会

計 画 名	I 長岡市中心市街地地区整備計画 ■ 社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業) ■ 都市構造再編集中支援事業 ■ まちなかウォークアブル推進事業 II 長岡の未来を創造する、魅力あふれるまちづくり(重点計画) ■ 社会資本整備総合交付金事業(住宅に関するもの)
分 野	中心市街地・住宅
交 付 金 名	社会資本整備総合交付金、都市構造再編集中支援事業補助金、 まちなかウォークアブル推進事業補助金
評 価 種 別	事後評価

令和6年2月1日



目次

0. 事後評価制度の概要について	p.3
(1)事後評価制度の概要	
1. 各整備計画の概要と実施状況について	p.10
(1)上位計画の概要	
(2)各整備計画における支援制度の変遷	
(3)計画に掲げた目標、指標	
(4)事業一覧	
(5)各事業の概要	
2. 事後評価にかかる審議	p.42
(1)成果の達成度評価	
(2)事業の効果発現要因	
(3)定量的指標以外の交付対象事業の効果	
3. 今後の社会資本整備の方策にかかる審議	p.58
(1)今後の社会資本整備の方策	
(2)フォローアップ計画	

0.事後評価制度の概要について

(1) 事後評価制度の概要

目的

交付金をもたらした成果等を客観的に診断し、効果発現の要因を分析して、今後のまちづくりを適切な方向に導くとともに、これらを住民にわかりやすく説明することを目的とする。

事後評価の手続き

1. 事業の成果の検証(事後評価シートの作成を含む)

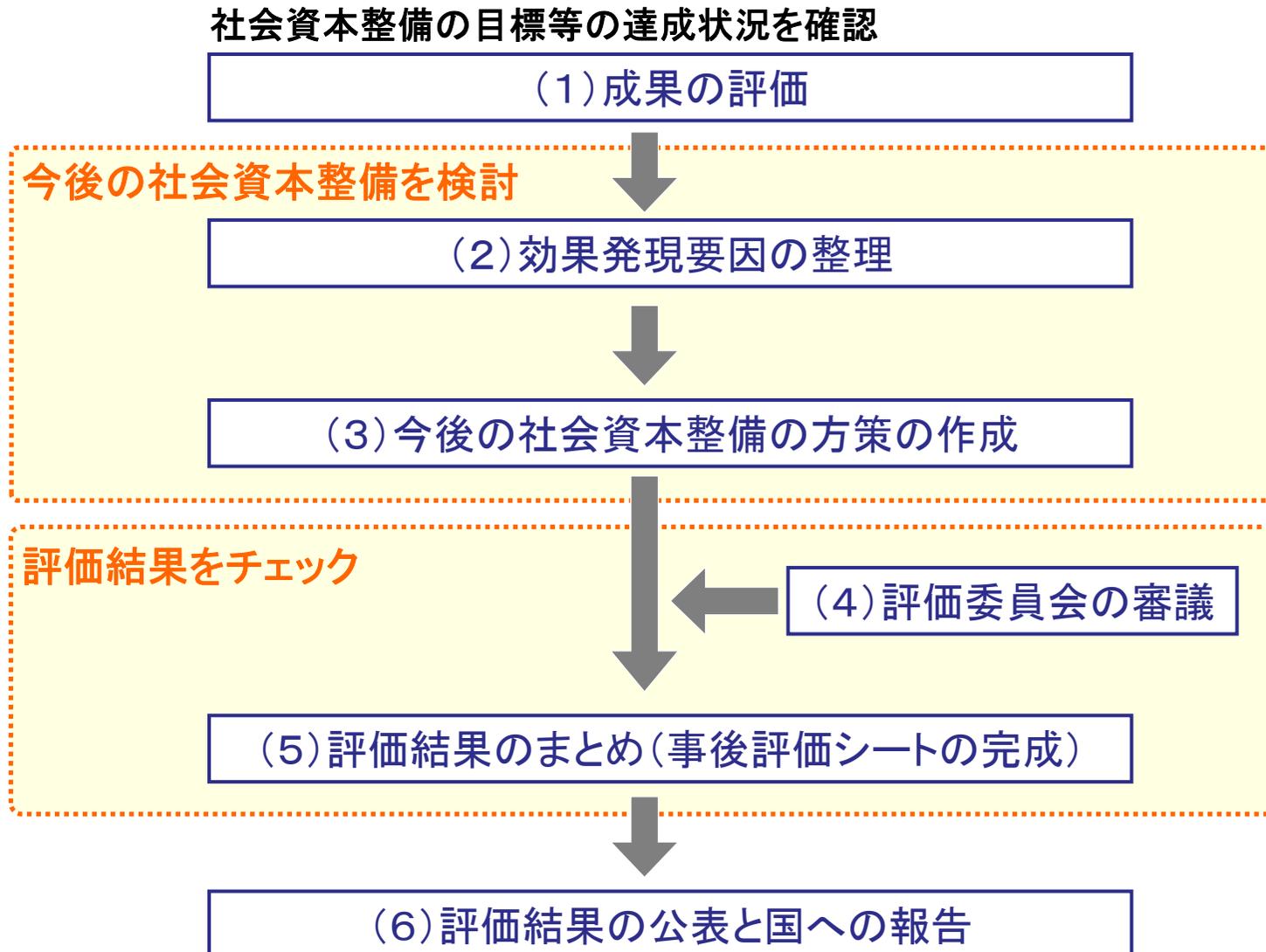
- 交付金の成果等について評価するとともに、評価結果をもとに、その結果に至った原因(以下、「効果発現の要因」という)を整理し、今後の対策(以下、「今後の社会資本整備の方策」という)を整理する。
- 評価委員会による審議を経て見直し等を行う。
- 最終的に「事後評価シート」に取りまとめ、国へ提出するとともに、再度住民に公表する。

2. フォローアップの実施(必要に応じて)

- 成果の評価において、数値目標の達成状況の検証に「見込み」の値を用いた場合や、整備計画に掲げた社会資本整備の目標並びに数値目標を達成することができなかつたために改善策を実施した場合に、適切な時期に改めて達成状況を確認し、評価を確定させるための「フォローアップ」を実施する。
- フォローアップは、これまでと同様に市町村等自らがを行い、実施結果を国へ提出するとともに、適宜、住民に公表する。

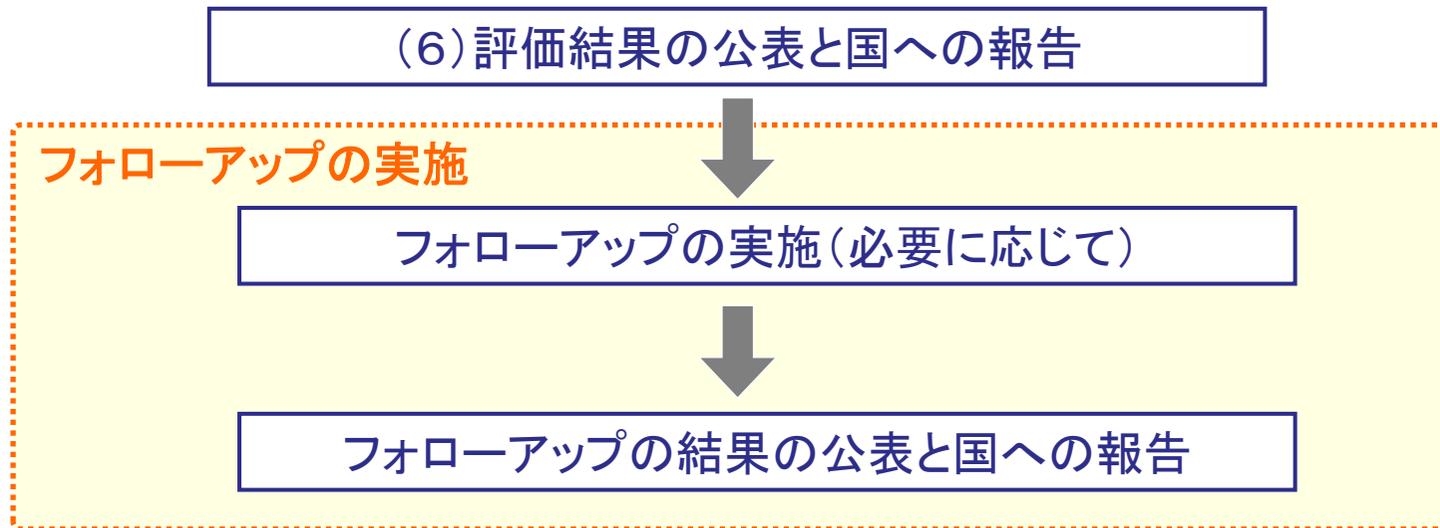
(1) 事後評価制度の概要

● 事後評価の流れ(国への報告まで)



(1) 事後評価制度の概要

●事後評価の流れ(国への報告後)



(1) 事後評価制度の概要

● 事後評価の流れ(各段階の内容)

(1) 成果の評価

- 事業の実施状況
- 整備計画に記載した数値目標の達成状況
- その他の数値指導による効果発現の計測

(2) 効果発現要因の整理

- 指標の改善と事業の関連性等、成功要因・失敗要因の整理
- 成果と実施過程の関係性の整理

(3) 今後の社会資本整備の方策の作成

- 事業終了後(又は継続後)における社会資本整備の方策を作成

(1) 事後評価制度の概要

● 事後評価の流れ(各段階の内容)

(4) 評価委員会の審議

- 事後評価の手続き及び整備計画の目標の達成状況の結果の妥当性を審議
- 今後の社会資本整備等の内容の妥当性を審議

(5) 評価結果のまとめ(事後評価シートの完成)

- 事後評価結果の公表及び評価委員会の審議、有識者の意見聴取等により寄せられた意見等を評価に反映

(6) 評価結果の公表と国への報告

- 住民に対し、結果を公表
- 指定書式にて、国へ結果を報告

(1) 事後評価制度の概要

● 事後評価の流れ(各段階の内容)

フォローアップの実施(必要に応じて)

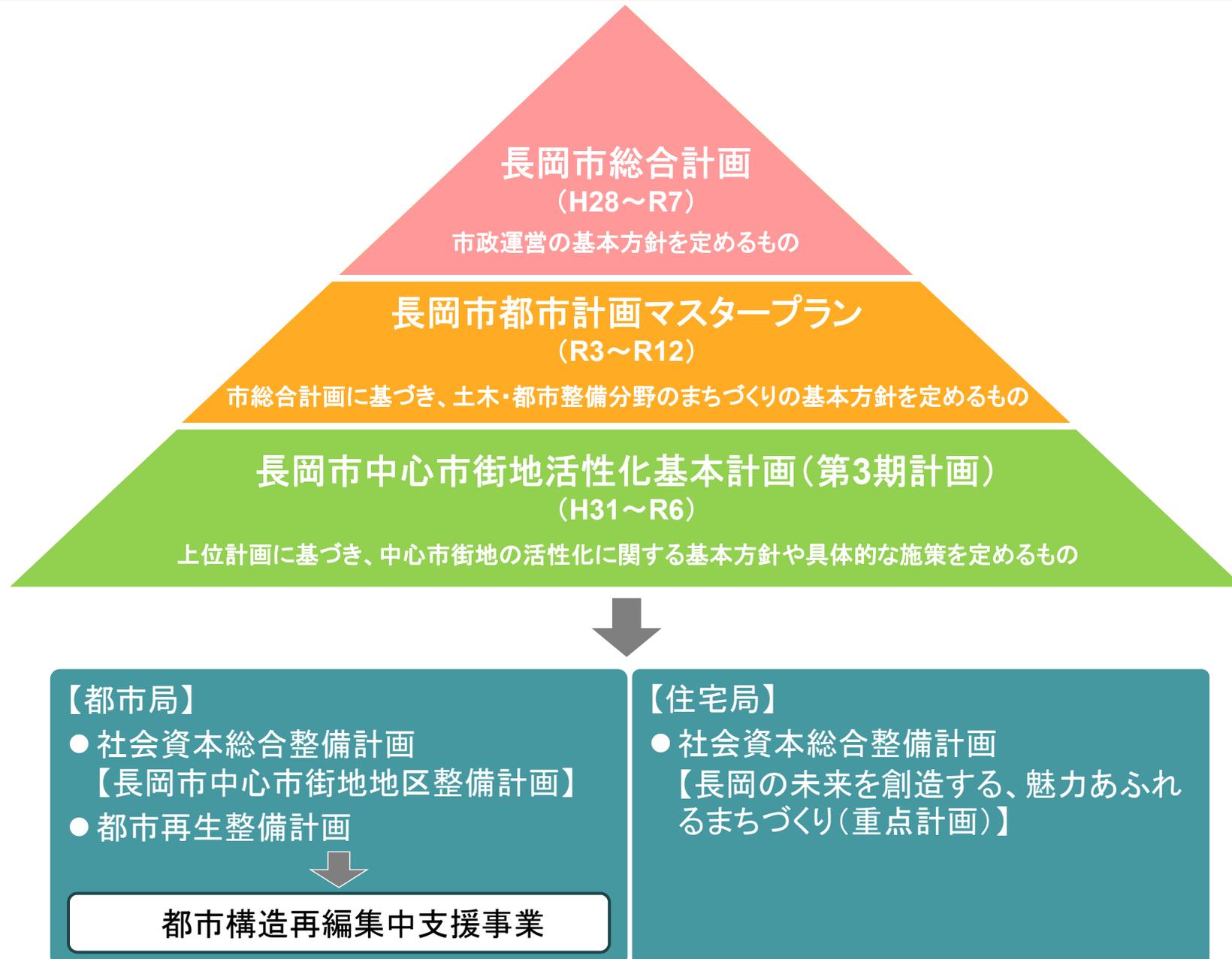
- 改善策を実施した場合等に、改めて目標の達成状況を確認
- 適切な時期(原則、交付終了の翌年度)に実施

フォローアップの結果の公表と国への報告

- 以下の場合に実施し、目標の達成状況を再確認
 - 数値目標の達成状況を「見込み」で評価を実施した指標について、「確定値」を計測する場合
 - 交付終了後1年以内に達成見込み「あり」とした指標について、「確定値」を計測する場合
 - 今後の社会資本整備の方策において「改善策」を必要とする場合

1.各整備計画の概要と実施状況について

(1) 上位計画の概要



(1) 上位計画の概要

●長岡市総合計画(H28～R7)

策定の目的

市政の基本方針及び各政策分野の施策方針を総合的に定めること。

関連政策及び施策の柱

【政策2】人材育成

- 施策の柱 2-4 生涯にわたるまなびの場の充実

【政策3】さらなる産業の活性化

- 施策の柱 3-2 起業・創業の促進と新産業の創出

【政策5】都市環境の充実

- 施策の柱 5-1 拠点性を高めるまちづくりの推進

【政策6】魅力創造・発信

- 施策の柱 6-3 交流人口の拡大

関係する主要な取り組み

- 米百俵の精神と互尊文庫創設の精神を継承する未来の長岡の「志」を育む場の創出
- 若者などの起業・創業への支援の充実
- 都心地区及び各地域の中心部等への都市機能の適正配置による拠点性向上
- JR長岡駅周辺の魅力向上

(1) 上位計画の概要

●長岡市中心市街地活性化基本計画(第3期計画)(H31～R6)

基本的な方針(まちづくりのテーマ)

みんなが創るまちなかの価値
～誰もが楽しみ安心できる場所、誰もがつながり育てるまち～

	基本方針	目標	目標指標
①	多くの人々が歩き、巡り、にぎわいが広がるまち	まちを「歩く人」を増やす	大手通交差点より西側の歩行者・自転車交通量(平日)(人/日)
②	多様なビジネスが生まれ、育ち、集積するまち	まちで「起業する人」を増やす	中心市街地内の起業数(件/5年)
③	将来を担う若者が集い、活躍するまち	まちに「集う若者」を増やす	30代以下のまちなか居住人口(人)

(1) 上位計画の概要

- 長岡市中心市街地活性化基本計画(第3期計画)(H31~R6)(続き)
本交付金に関する具体的施策

第4章 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項

I 長岡市中心市街地地区整備計画

- 駐車場案内システム改善事業
- 歩行者通行量画像解析カメラ整備事業
- まちなか観光交流センター(仮称)整備事業
- 産学連携情報交流センター(仮称)整備事業
- まちなか図書館(仮称)整備事業
- 歴史人物史展示整備事業
- 店ちか駐輪場設置社会実験事業

II 長岡の未来を創造する、魅力あふれるまちづくり(重点計画)

- 大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業
- 優良建築物等整備事業(大手通界限D地区)

(1) 上位計画の概要

- 長岡市中心市街地活性化基本計画(第3期計画)(H31~R6)(続き)
本交付金に関する具体的施策

第5章 都市福利施設を整備する事業に関する事項

I 長岡市中心市街地地区整備計画

- まちなか観光交流センター(仮称)整備事業(再掲)
- 産学連携情報交流センター(仮称)整備事業(再掲)
- まちなか図書館(仮称)整備事業(再掲)
- 歴史人物史展示整備事業(再掲)
- 多世代交流拠点整備検討調査事業

第6章 公営住宅等を整備する事業、中心市街地共同住宅供給事業その他の住宅の供給のための事業及び当該事業と一体として行う居住環境向上のための事業等に関する事項

II 長岡の未来を創造する、魅力あふれるまちづくり(重点計画)

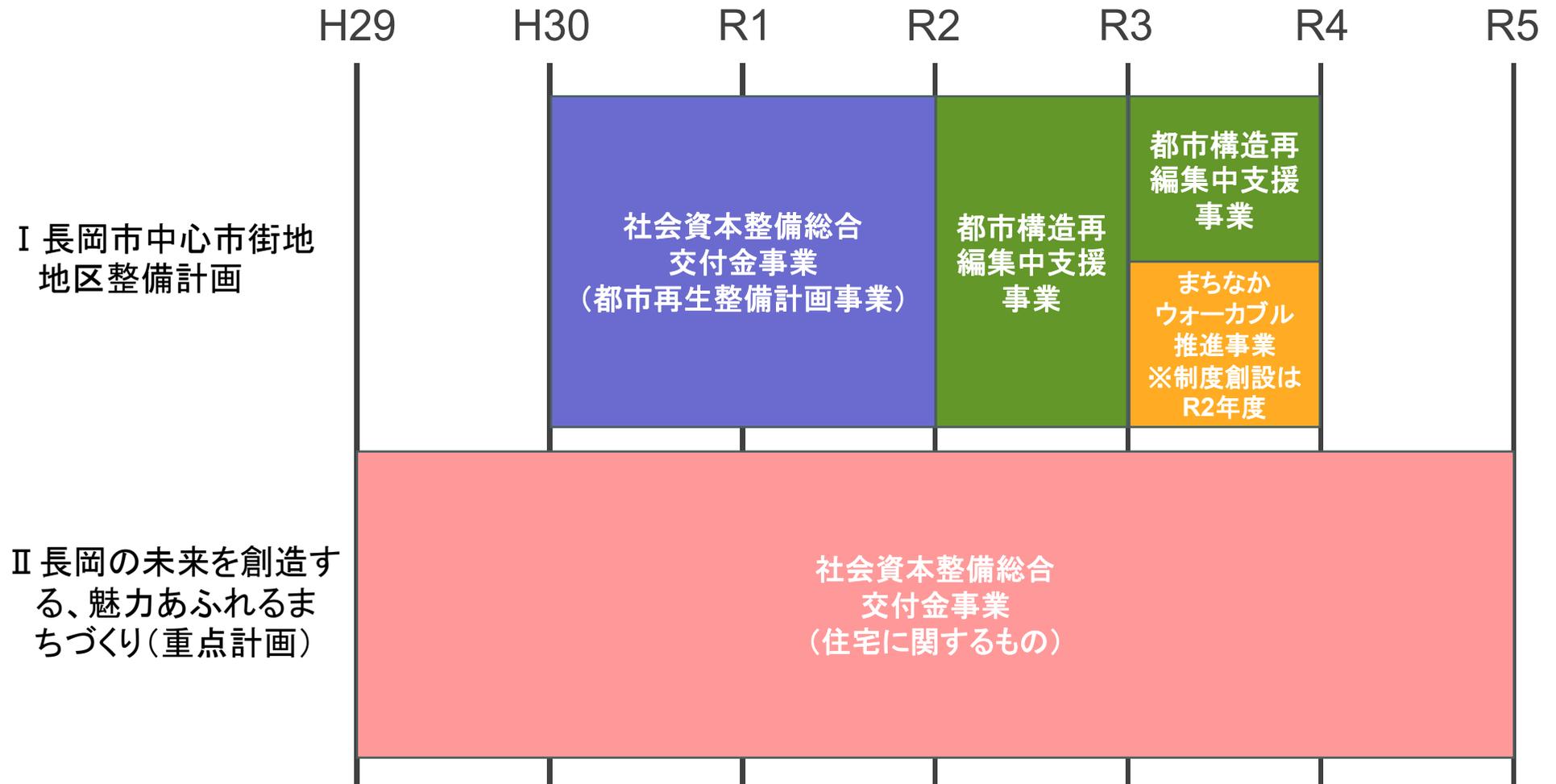
- 大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業(再掲)

第8章 4から7までに掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業に関する事項

I 長岡市中心市街地地区整備計画

- 駐車場案内システム改善事業(再掲)
- 店ちか駐輪場設置社会実験事業(再掲)

(2) 各整備計画における支援制度の変遷



(3) 計画に掲げた目標、指標

● 目標

I 長岡市中心市街地地区整備計画（H30～R4）

長岡市中心市街地活性化基本計画（第2期計画）におけるまちづくりの目標を実現し、多くの市民で賑わい市民の誰もが誇りをもてる中心市街地を創出する。

【テーマ】

みんなが創るまちなかの価値

～誰もが楽しみ安心できる場所、誰もがつながり育てるまち～

【目標】

① 長岡を代表し、まちの活力を牽引する

中心市街地が高質で先進的なサービスを生産・発信する場として長岡をリードし、市域全体の牽引役となる。

② 多様な機能と多世代が集まる

まちなかに不足する機能や市民ニーズの高い多様な機能を導入・強化し、子どもから高齢者まで多くの人が気軽に楽しみ交流できる場所づくりを行う。

③ 日常と非日常が交わり楽しむ

中心市街地全体が、さらに日常的に時間を過ごせる場所、魅力あふれる暮らしの場所となり、イベント等の非日常としても楽しめる場所づくりを行う。

(3) 計画に掲げた目標、指標

● 目標

Ⅱ 長岡の未来を創造する、魅力あふれるまちづくり(重点計画)(H29～R5)

長岡市では「都市の活力と魅力にあふれ、安全・安心で住みよいまちの実現」に向け、良好な住まい・まちづくりに取り組んでいる。

中心市街地で暮らす人のニーズに配慮した、安心して生活し続けることの出来る住まいづくりを推進するとともに、本市が目指すコンパクトで持続可能な都市を実現するため、高度な都市機能や日常生活に必要な基礎的な都市機能の集積により、活力ある中心市街地を創出する。

(3) 計画に掲げた目標、指標

● 指標

指標	【指標1】 中心市街地における一日あたりの歩行者通行量 (平日) (人/日)	【指標2】 人づくり・学び・交流エリア (仮称)の年間利用者数 (人/年)	【指標3】 中心市街地内の起業数 (件/年)	【指標4】 中心市街地における居住人口 (人)	【指標5】 中心市街地における公益施設の利用者 (人/年)
評価年度	H28⇒R5 ※Ⅱ:H27⇒R5	H28⇒R5	H29⇒R5	H27⇒R5	H27⇒R5
I 長岡市中心市街地 地区整備計画 都市再生整備 都市構造再編 ウォークアブル	●	●	●		
Ⅱ 長岡の未来を創造 する、魅力あふれる まちづくり(重点計 画) 住宅	●			●	●

(4) 事業一覧

● I 長岡市中心市街地地区整備計画(H30～R4)

基幹事業・提案事業		
駐車場案内システム改善事業		都市構造再編
米百俵広場(仮称)整備事業	都市再生整備	都市構造再編
歩行者通行量画像解析カメラ整備事業		都市構造再編
まちなか観光交流センター(仮称)整備事業		都市構造再編
産学連携情報交流センター(仮称)整備事業	都市再生整備	都市構造再編
まちなか図書館(仮称)整備事業	都市再生整備	都市構造再編
歴史人物史展示整備事業		都市構造再編
多世代交流拠点整備検討調査事業ほか	都市再生整備	都市構造再編
立地適正化計画作成支援事業		都市構造再編
店ちか駐輪場設置社会実験事業		都市構造再編 ウォーカブル
まちなか歩行者誘導サイン整備社会実験事業		ウォーカブル

(4) 事業一覧

● I 長岡市中心市街地地区整備計画(H30～R4)

	H30	R1	R2	R3	R4
①都市再生整備計画事業					
①-1 駐車場案内システム改善事業			■		
①-2 米百俵広場(仮称)整備事業		■	■		
①-3 歩行者通行量画像解析カメラ整備事業			■	■	
①-4 まちなか観光交流センター(仮称)整備事業				■	■
①-5 産学連携情報交流センター(仮称)整備事業		■	■	■	■
①-6 まちなか図書館(仮称)整備事業	■	■	■	■	■
②歴史人物史展示整備事業				■	■
③多世代交流拠点整備検討調査事業ほか			■	■	■
④立地適正化計画作成支援事業				■	■
⑤店ちか駐輪場設置社会実験事業			■	■	
⑥まちなか歩行者誘導サイン整備社会実験事業					■

- 社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業)
- 都市構造再編集中支援事業
- まちなかウォークブル推進事業

(4) 事業一覧

● I 長岡市中心市街地地区整備計画(H30～R4)

関連事業
多世代交流拠点整備検討調査事業(H28)
店ちか駐輪場設置社会実験事業(H29～H30)
若者居場所づくり検討社会実験事業
大手通表町西地区第一種市街地再開発事業
老朽建物等更新事業
ボトルネック踏切改良事業
電線共同溝整備事業(東幹線1号線)
大手通消雪施設改善事業(国道351号)
中心市街地浸水対策事業
道路構造物老朽化対策事業(東幹線64号線)
長岡市大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業
若者のまち居場所づくり推進事業(官民連携可能性調査)

(4) 事業一覧

● II 長岡の未来を創造する、魅力あふれるまちづくり(重点計画) (H29~R5)

基幹事業	
大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業	住宅
優良建築物等整備事業(大手通界限D地区)	住宅
基本計画等作成等事業(大手通表町東地区)	住宅
防災・省エネまちづくり緊急促進事業(大手通坂之上町地区)	住宅

(4) 事業一覧

● II 長岡の未来を創造する、魅力あふれるまちづくり(重点計画) (H29~R5)

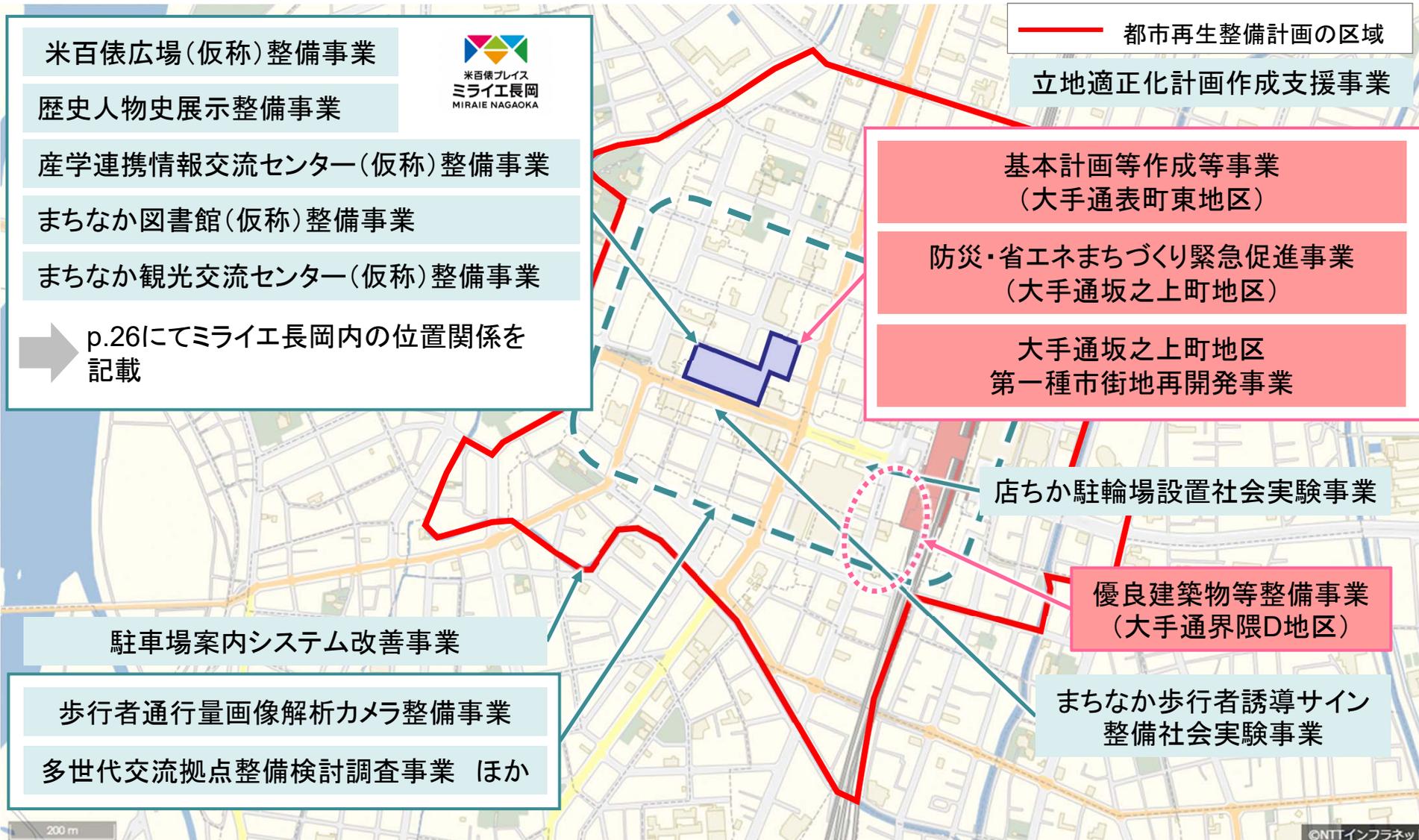
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
①大手通坂之上町地区 第一種市街地再開発事業							
②優良建築物等整備事業 (大手通界限D地区)							
③基本計画等作成等事業 (大手通表町東地区)							
④防災・省エネまちづくり緊急促進事業 (大手通坂之上町地区)							

 社会資本整備総合交付金事業(住宅に関するもの)

(4) 事業一覧

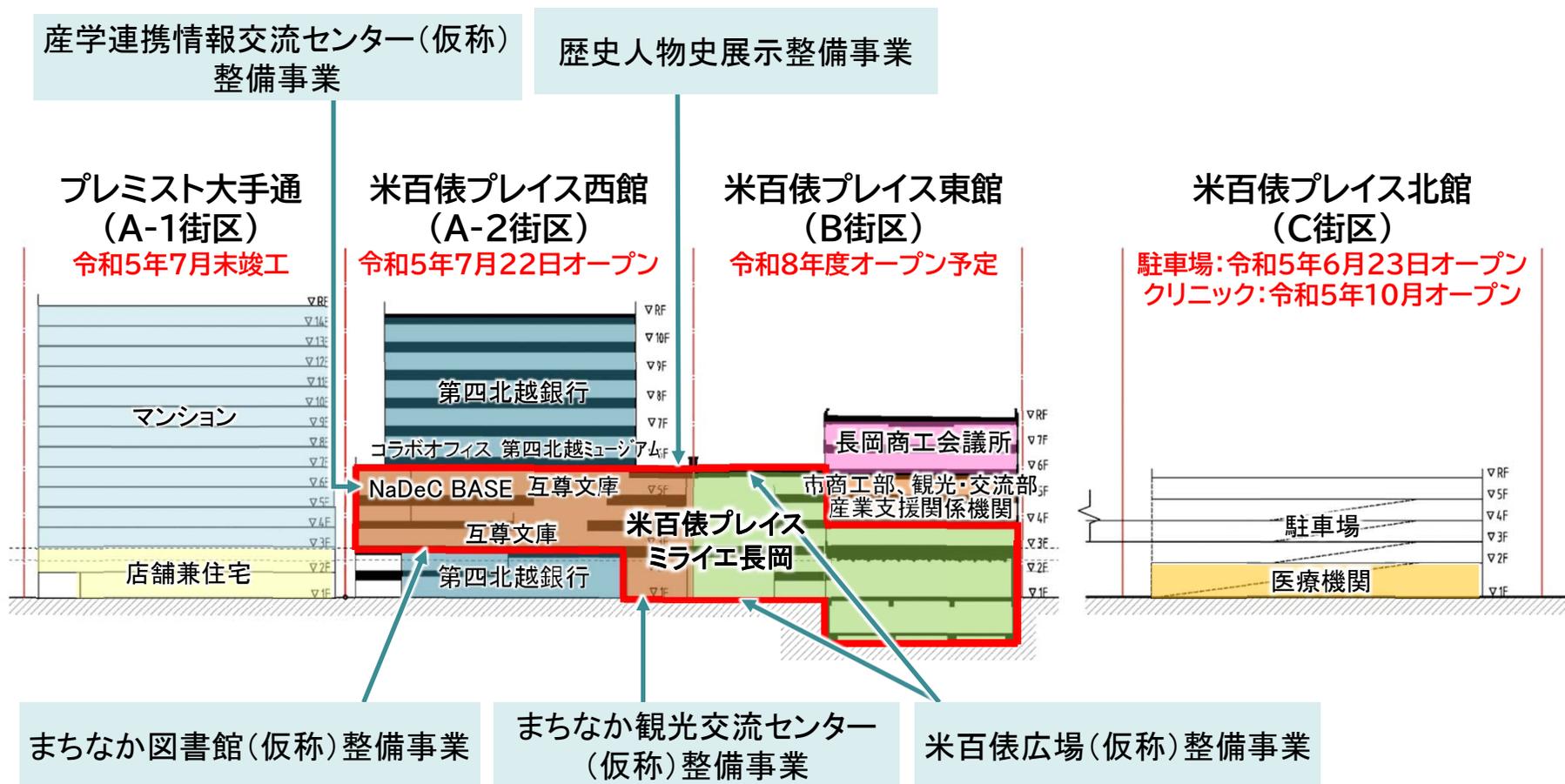
● 各事業の位置関係

- I 長岡市中心市街地地区整備計画
- II 長岡の未来を創造する、魅力あふれるまちづくり(重点計画)



(4) 事業一覧

●各事業の位置関係(ミライエ長岡)



(5) 各事業の概要

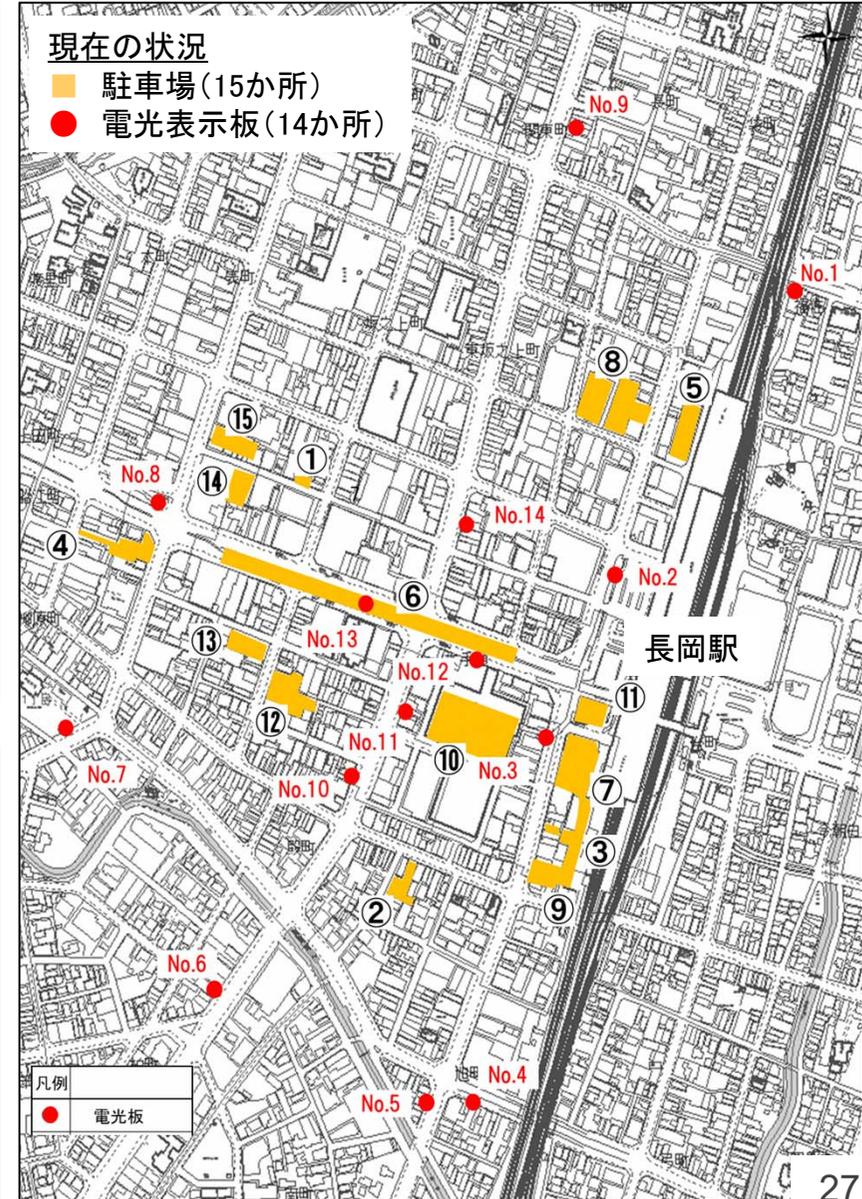
● 駐車場案内システム改善事業

都市構造再編

事業主体	長岡市	事業期間	令和2年度～
事業概要	まちなか駐車場の利便性の向上や円滑な誘導を図るため、既存システム及び電光表示板について、最適な見直し方針の検討を行う。		
現状	<ul style="list-style-type: none"> 「パーキングナビながおか※」で、駐車場15か所（市営4か所、民間11か所）の位置と満車空車情報を案内。 「電光表示板（14か所）」で市営の駐車場4か所を案内。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> 既存システム及び電光表示板は、令和7年度末の3G回線のサービス終了に伴い使用できなくなる。システム改修には多額の費用がかかる。 駐車場利用が市営駐車場に集中。 アオーレ長岡や米百俵プレイスミライエ長岡をはじめとしたまちなか回帰に伴い、時代に合った駐車場案内の見直しが必要。 		

↓
令和2年度に総合的な見直しを検討

※ 長岡駅周辺の駐車場のマップや情報を検索できるWebサイト



(5) 各事業の概要

改善方針と効果

改修方針

- ①「パーキングナビながおか」は「民間システム」へ移行。
- ②「電光表示板」は「案内看板」に改修。(R6年度に表示内容を検討)

効果

- ①維持管理費の大幅な縮減。(360万円/年 ⇒ 65万円/年)
- ②GoogleMapを活用するため、地図情報が随時更新され、利用者に最新情報を提供できる。
- ③民間駐車場にも掲載を依頼することで、市営駐車場だけでなく、まちなか全体の駐車場利用が促進される。



P 駐車場詳細	
長岡駅前	
満車/空車等	18日 13:54 現在 満車
住所	〒940-0061 新潟県長岡市内町1丁目2-6
TEL	
料金	全日 8:00~8:00 30分¥200 最大料金 全日 8:00~17:00 ¥900 最大料金 全日 入庫後24時間以内¥1800 ※最大料金は繰り返し適用となります
営業時間	24時間営業 定休日:無休
タイプ	平地(自走式)
収容台数	12台
	領収書発行 ○

次期計画での検証

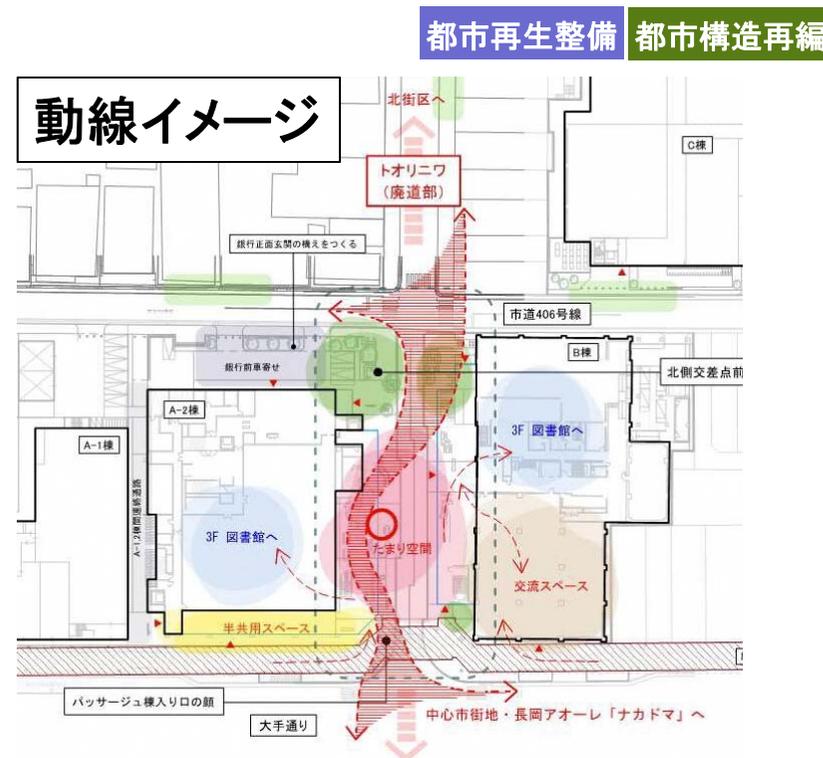
今後、次期計画において、令和6年度に導入する民間システムの効果を検証する。

(5) 各事業の概要

●米百俵広場(仮称)整備事業

事業主体	長岡市
面積	1,109.66m ²
事業期間	令和元年度～令和2年度
事業概要	
<p>ミライエ長岡東館に整備する「トオリニワ」と「ミライエテラス」の実施設計を実施。「トオリニワ」は市道401号線を廃止し、コミュニティ道路として車両通行機能は維持しつつ、「五・十の市」やイベントスペースが行える場として、「ミライエテラス」は学生と企業の交流会などのイベントが行われる屋上庭園として整備予定。</p>	

ミライエテラス



トオリニワ

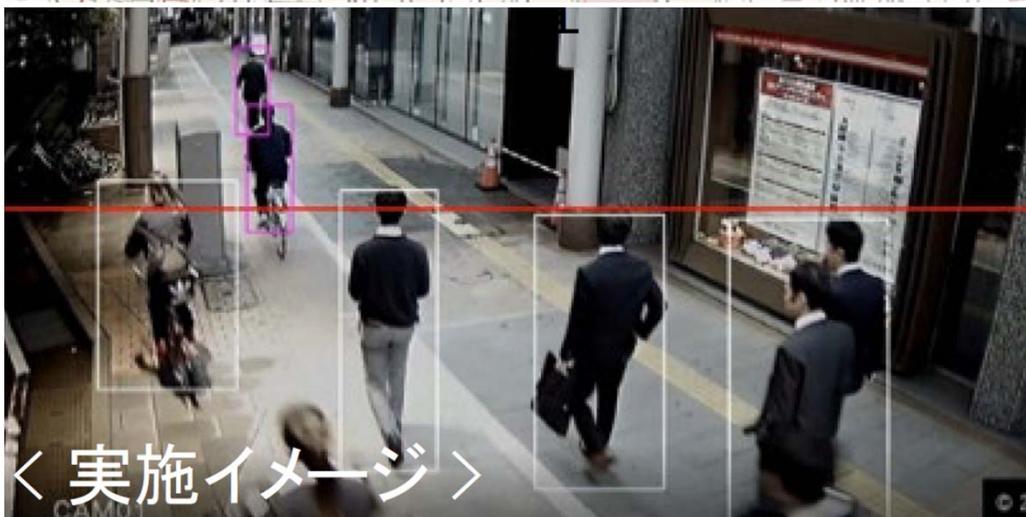
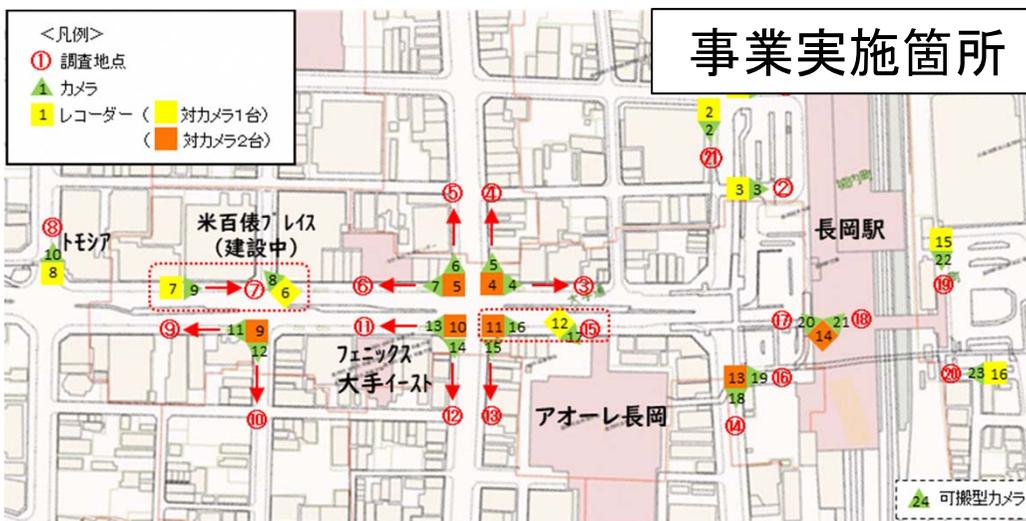


(5) 各事業の概要

● 歩行者通行量画像解析カメラ整備事業

都市構造再編

事業主体	長岡市
箇所数	22箇所
事業期間	令和2年度～ 令和3年度
事業概要	
<p>中心市街地活性化基本計画の目標指標である「歩行者通行量」の調査について、これまで人手による観測を行ってきたが、調査人員の確保が困難なことや、調査回数や時期が限定されることが課題となっていた。</p> <p>このことから、計測地点にカメラを常設して歩行者画像を撮影し、AIを活用した計測を行う情報化基盤施設を整備することで、効率的かつ詳細に人流を把握するものである。</p>	



(5) 各事業の概要

●まちなか観光交流センター(仮称)整備事業

都市構造再編

事業主体	長岡市
床面積	【専有】265.09㎡ 【共用】73.80㎡ 【合計】338.89㎡
事業期間	令和3年度～令和4年度
事業概要	
ミライエ長岡西館1階パッサージュウエストを整備。地域の観光情報の提供や地域文化・歴史の紹介、地元物産の紹介や即売を行うなど、市民の交流や賑わいを創出する。	



(5) 各事業の概要

● 産学連携情報交流センター(仮称)整備事業

都市再生整備 都市構造再編

事業主体	長岡市
床面積	【専有】 1,589.69㎡ 【共用】 442.58㎡ 【合計】 2,032.27㎡
事業期間	令和元年度～ 令和4年度
事業概要	
市民センター地下からミライエ長岡5階に「NaDeC BASE」を移転・拡充。地場産業振興やその活性化を目的とし、市内の高等教育機関、産業界、金融機関、行政が連携し、地域資源を活かした新たな産業を生み出す。	



(5) 各事業の概要

●まちなか図書館(仮称)整備事業

都市再生整備 都市構造再編

事業主体	長岡市
床面積	【専有】1,747.32m ² 【共用】 486.47m ² 【合計】2,233.79m ²
事業期間	平成30年度～ 令和4年度
事業概要	
長岡市初の公立図書館である「互尊文庫」を移転拡充し、まちなかの利便性向上及び若者から高齢者まで多くの市民で賑わう中心市街地の新たな交流拠点を整備するもの。	



(5) 各事業の概要

●歴史人物史展示整備事業

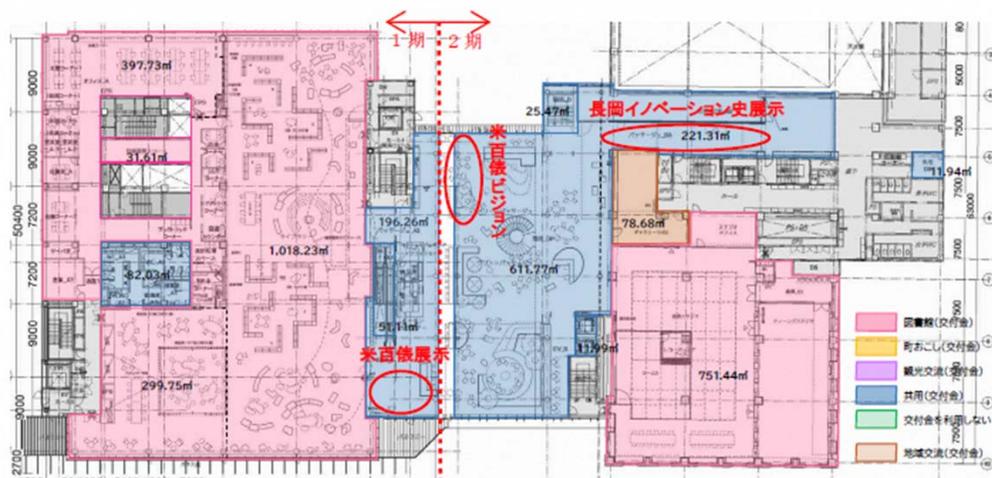
都市構造再編

しるみる米百俵

事業主体	長岡市
事業期間	令和3年度～令和4年度
事業概要	
<p>ミライエ長岡西館3階に米百俵に精神と小林虎三郎の思想や生涯を紹介する「しるみる米百俵」を整備。</p> <p>長岡のまちづくりの精神が生まれた国漢学校跡地として、長岡の歴史や文化を通じたまちの賑わい創出及び全市への波及を図る。</p>	



整備箇所 人づくり・学び・交流エリア 3階



(5) 各事業の概要

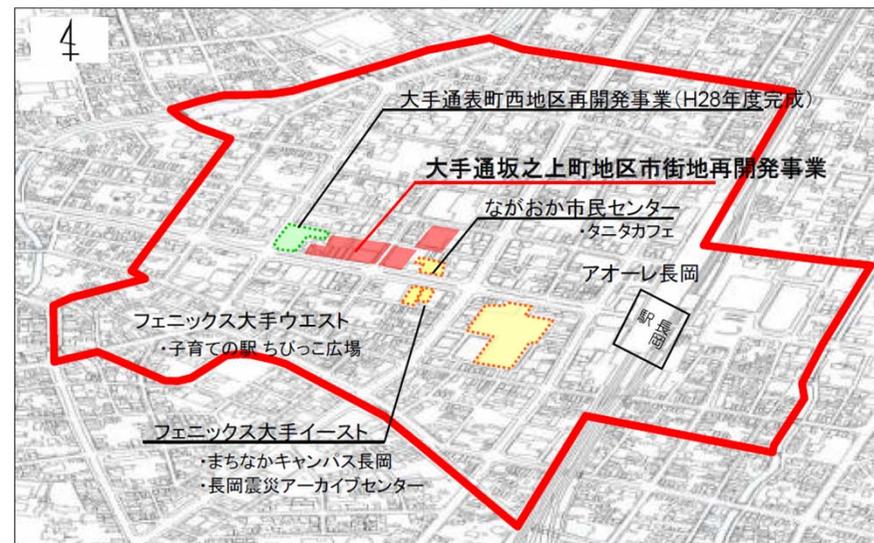
● 多世代交流拠点整備検討調査事業ほか

都市再生整備 都市構造再編

事業主体	長岡市
事業期間	令和2年度～令和4年度
事業概要	
<p>中心市街地地区全体のまちづくりの観点から、当該地区に必要な機能を整理し、その効果分析調査を行うもの。</p> <p>小学生向けのワークショップ「ミライエクリエイティブキッズ」を事業化し、ミライエ長岡東館に中高生の居場所である「ティーンズラボ(仮称)」を導入予定。</p>	

事業実施箇所

□ …長岡市中心市街地地区



ティーンズラボ(仮称)



ミライエ クリエイティブキッズ



(5) 各事業の概要

● 立地適正化計画作成支援事業

都市構造再編

事業主体	長岡市
事業期間	令和3年度～令和4年度
事業概要	
<p>平成28年度に立地適正化計画を策定、平成29年度に公表した。当該計画の改定・公表は、令和5年3月31日に行った。安全・安心で持続可能なコンパクトなまちづくりを推進するため、以下の内容を見直し・追加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 防災指針の追加 ● 誘導施設等の追加 ● 中間評価等 	

長岡市立地適正化計画

(2) 立地適正化計画制度

別措置法の一部改正
 計画は、人口減少社会においても日常的な生活サービス水準を維持するた
 市機能を緩やかに各地域の拠点に誘導し、市街地の密度を適切に保つこと
 あり、平成26年の都市再生特別措置法の改正により創設されました。
 別措置法第81条第1項による「住宅及び都市機能増進施設の立地の適正
 の計画」であり、社会情勢の変化に応じて法改正が重ねられています。
 これは、市街地の空き地・空き家等の低未利用地が増加する「都市のスポン
 じ、令和2年には、全国的に自然災害が頻発・激甚化する中、居住や都市
 市にあたっての立地適正化計画への防災指針の追加等による「安全なまち
 への対応と居住エリアの環境向上等による「魅力的なまちづくり」に係
 りました。

ク型コンパクトシティ

別措置法の一部改正 (H30.7施行) 都市再生特別措置法等の一部改正(R2.9施行)
 ポンジ化対応 「安全なまちづくり」の推進 「魅力的なまちづくり」の推進
 居住誘導区域から原則除外 居住エリアの安全性確保
 立地適正化計画による まちなかへの住まい・施設の誘導

国土交通省都市局「令和3年度 都市局関係予算決定概要」を基に作成

3

令和5年3月 改定
長岡市

(5) 各事業の概要

● 店ちか駐輪場設置社会実験事業

都市構造再編 ウォークアブル

事業主体	長岡市
事業期間	令和2年度～令和3年度
事業概要	<p>買い物等の短時間駐輪の需要を満たしながら、長時間駐輪の自転車を既存駐輪場へ誘導することで、まちなか空間の利便性を向上させることを目的とする。</p> <p>歩道上に駐輪枠や路面標示を設置して、路上駐輪の実態の把握と効果の検証を行う社会実験。</p>
現状と課題	<p>長岡駅周辺の歩道上には、日中のピーク時で約900台の自転車が駐輪されており、視覚障害者誘導ブロックやバス停の妨げになっている。</p> <p>大手通坂之上町地区市街地再開発事業に伴い、自転車の利用者がさらに増大することが想定されるため、歩道上の駐輪を整理し、歩行者が居心地良く、歩きたくなるまちなかにすることが課題となっている。</p>
実験期間	令和3年10月1日～10月31日
実験場所	アオーレ長岡前歩道
実験内容	<p>①お店のちかくにチョコっと駐輪 買い物目的等の短時間駐輪の需要を満たすための駐輪枠設置</p> <p>②長時間駐輪を地下駐輪場へ誘導 長時間駐輪する自転車を既存の駐輪場へ誘導するための路面標示設置</p>

【現状】



▲点字誘導ブロック
近接駐輪



▼自転車レーン阻害

(5) 各事業の概要

● 店ちか駐輪場設置社会実験事業

○ 駐輪枠の設置

駐輪枠内に整然と駐輪され、歩行者の安全性が向上。



実験前



実験中

○ 路面標示の設置

路面標示により、バス停や視覚障害者ブロック付近では駐輪が減少。



実験前



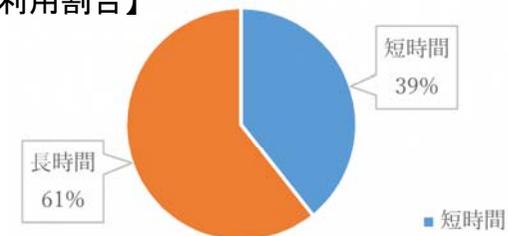
実験中



【路面標示】

都市構造再編 ウォークアブル

【利用割合】



短時間駐輪が4割、長時間駐輪が6割で、短時間駐輪で活用できる店ちか駐輪場は有効。

【駐輪台数】

令和3年9月	令和3年10月
大手口地下駐輪場 駐輪台数(平均)	
298台	281台
5.7%減少	
路上駐輪台数(平均)	
47台	46台
1.6%減少	

路上駐輪台数と大手口地下駐輪場の駐輪台数は実験前後でほぼ変化なし。PRや啓蒙活動などの工夫が必要。

(5) 各事業の概要

●まちなか歩行者誘導サイン整備社会実験事業

ウォーカブル

事業主体	長岡市
事業期間	令和3年度～令和4年度
事業概要	
<p>平成24年オープンの「アオーレ長岡」等のまちなか型公共サービスの展開に合わせて、まちなかを訪れる人の利便性向上を図るため、大手通り沿いに分散配置する公共施設等の案内誘導サインを整備してきた。</p> <p>サインの整備から年数が経ち、施設の名称変更や移転等が行われたことで、現在の配置とズレも生じていることから、令和8年度の「米百俵プレイス」のフルオープンに合わせて、まちなかの公共サインの再整備を予定している。</p> <p>「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の実現に向けて、来訪者の視認性や回遊性の誘発を高める情報発信の在り方を検証し、公共サインの再整備の参考にするため社会実験を実施する。</p>	

事業実施箇所

● サイネージ設置場所 ▶ 歩行者通行量調査用カメラ ■ 検証するイルミネーション

ショップ イン 大手

フェニックス大手イースト(コリドー)

フェニックス大手イースト前

「イメージ」デジタルサイネージ

長岡駅大手口広場

(現状)

(社会実験)

デジタルサイネージの仮設置

コンテンツ

学生グループが立ち止まり見る

見るよう促す

(5) 各事業の概要

- 大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業
- 基本計画等作成等事業(大手通表町東地区)
- 防災・省エネまちづくり緊急促進事業(大手通坂之上町地区)

住宅

事業主体	UR都市機構 (基本計画等作成等事業は長岡市)
事業期間	平成29年度～令和8年度 (本評価の対象期間は、平成29年度～令和5年度)

事業概要

中心市街地の活性化に寄与することを目的に、旧大和デパートを含む施設一帯を共同化・高度化し、都市機能の更新を図るため、大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業の施行者及び特定建築者を支援する事業である。4街区中3街区が令和5年度に竣工し、残る1街区は令和5年度に着手し、令和8年度に完成予定である。

【位置図】



【竣工写真】
(R5.5.31)



(5) 各事業の概要

●優良建築物等整備事業(大手通界限D地区)

住宅

【位置図】

事業主体	民間事業者
事業期間	令和元年度～令和10年度 (本評価の対象期間は、令和元年度～令和2年度)
事業概要	
まちなかの賑わいを創出し、中心市街地活性化へ寄与することを目的に、長岡駅前の老朽化したテナントビルの建替と公共用通路の整備を併せて行うことで、より安全かつ快適な歩行者空間の向上を図るため、建替を行う民間事業者を支援する事業である。	



2.事後評価にかかる審議

(1) 成果の達成度評価

● 数値指標の結果

都市再生整備

都市構造再編

ウォークابل

I 長岡市中心市街地地区整備計画(H30～R4)

指標名	単位	従前値 (年度)	目標値 (R5)	評価値 (R5)	達成度
【指標1】 中心市街地における一日あたりの 歩行者通行量(平日)	人/日	86,282 (H28)	100,000	65,664 (確定値)	×
【指標2】 人づくり・学び・交流エリア(仮称)の 年間利用者数	人/年	51,691 [※] (H28)	146,100	301,750 (見込値)	○
【指標3】 中心市街地内の起業数	件/年	5 (H29)	8	5 (見込値)	×

※NaDeC BASEがオープンした平成30年度の数値であり、一部期間の利用者数を用いて推定した値

達成度

○ 評価値が目標値を上回った場合。

△ 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合。

× 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合。

(1) 成果の達成度評価

● 数値指標の結果

住宅

Ⅱ 長岡の未来を創造する、魅力あふれるまちづくり(重点計画)(H29~R5)

指標名	単位	従前値 (年度)	目標値 (R5)	評価値 (R5)	達成度
【指標1】 中心市街地における一日あたりの 歩行者通行量(平日)	人/日	86,170 (H27)	100,000	65,664 (確定値)	×
【指標4】 中心市街地における居住人口	人	5,409 (H27)	5,409	5,544 (見込値)	○
【指標5】 中心市街地における公益施設の 利用者数	人/年	77,903 (H27)	120,000	360,342 (見込値)	○

達成度

○ 評価値が目標値を上回った場合。

△ 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合。

× 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合。

(1) 成果の達成度評価

● 数値指標の結果 その他指標

指標名	単位	対応指標	従前値 (年度)	評価値 (R5)	達成度
【その他指標1】 中心市街地における一日あたりの歩行者通行量(休日)	人 / 日	指標1	75,913 (H27)	127,093 (確定値)	○
【その他指標2】 CLIP長岡の相談件数	件 / 年	指標3	169 (H26)	379 (見込値)	○

達成度

- 評価値が従前値を上回った場合。
- × 評価値が従前値を下回った場合。

(1) 成果の達成度評価

● 数値指標の計測方法

指標名	集計期間・時期	計測方法
【指標1】 中心市街地における一日あたりの歩行者通行量(平日)	当該年度10月に計測	● 歩行者・自転車通行量については、毎年10月に平日の1日間(7:00~20:00)、長岡駅周辺16地点を計測する
【指標2】 人づくり・学び・交流エリア(仮称)の年間利用者数	当該年度4月~3月	● 互尊文庫とNaDeC BASEの年間利用者数を計測する ● ミライエ長岡完成後のR5年度はミライエ長岡西館の年間利用者数を計測する
【指標3】 中心市街地内の起業数	当該年度4月~3月	● 中心市街地内の年間起業数を計測する
【指標4】 中心市街地における居住人口	当該年度3月31日時点の人口	● 居住者数については、住民基本台帳における、毎年3月31日現在の中心市街地活性化区域内の居住人口とする
【指標5】 中心市街地における公益施設の利用者数	当該年度4月~3月	● 互尊文庫と社会福祉センターの年間利用者数を計測する
【その他指標1】 中心市街地における一日あたりの歩行者通行量(休日)	当該年度10月に計測	● 歩行者・自転車通行量については、毎年10月に休日の1日間(7:00~20:00)、長岡駅周辺16地点を計測する
【その他指標2】 CLIP長岡の相談件数	当該年度4月~3月	● CLIP長岡の年間相談件数を計測する

(1) 成果の達成度評価

● 数値指標の目標値算出の考え方

指標名	目標値算出の考え方
【指標1】 中心市街地における 一日あたりの歩行者 通行量(平日)	平成25年実績である95,033人/日に加え、以下の事業効果による歩行者交通量の増加を見込み、目標値を100,000人/日と設定した。 (1)大手通表町西地区第一種市街地再開発事業効果:1,376人 (2)日常的なイベント等の実施に関わる事業効果:9人 (3)空き店舗活用に係る事業効果:3,792人
【指標2】 人づくり・学び・交流 エリア(仮称)の年間 利用者数	下記を足し合わせ、端数を切り上げた値とした。(146,100人) (1)互尊文庫(H28)年間利用者数と移転前後の面積から算出した移転後の想定利用者数:58,535人 (2)NaDeC BASE(R1)年間利用者数と移転前後の面積から算出した移転後の想定利用者数: 81,440人 (3)長岡駅コンコース歩行者交通量(R1)より算出した米百俵プレイスへ誘導される人数:6,039人
【指標3】 中心市街地内の 起業数	平成26年7月～平成30年3月の月平均から基準値を25件/5年とし、基準値に加え、以下の事業効果による企業数の増加を見込み、40件/5年(8件/年)とした。 (1)「NaDeC構想先行実施事業」によるコワーキングスペースやものづくり工房の設置:10件/5年 (2)若者チャレンジショップ事業:3件/5年 (3)学生起業家育成事業:2件/5年
【指標4】 中心市街地における 居住人口	現状維持のため、従前値と同じ数値に設定した。
【指標5】 中心市街地における 公益施設の利用者数	互尊文庫の年間平均利用者数(H22～26)、延床面積より、1㎡当りの年間の利用者数を算出し、整備予定施設面積(米百俵ライブラリーの占有率を75%と想定)を一人当たりの面積で割り、米百俵ライブラリーの年間利用者数を75,000人と算出した。 上記に社会福祉センター利用者数(H27)の45,003(人)を足し、端数を切り捨て120,000(人・年間)を目標値とした。

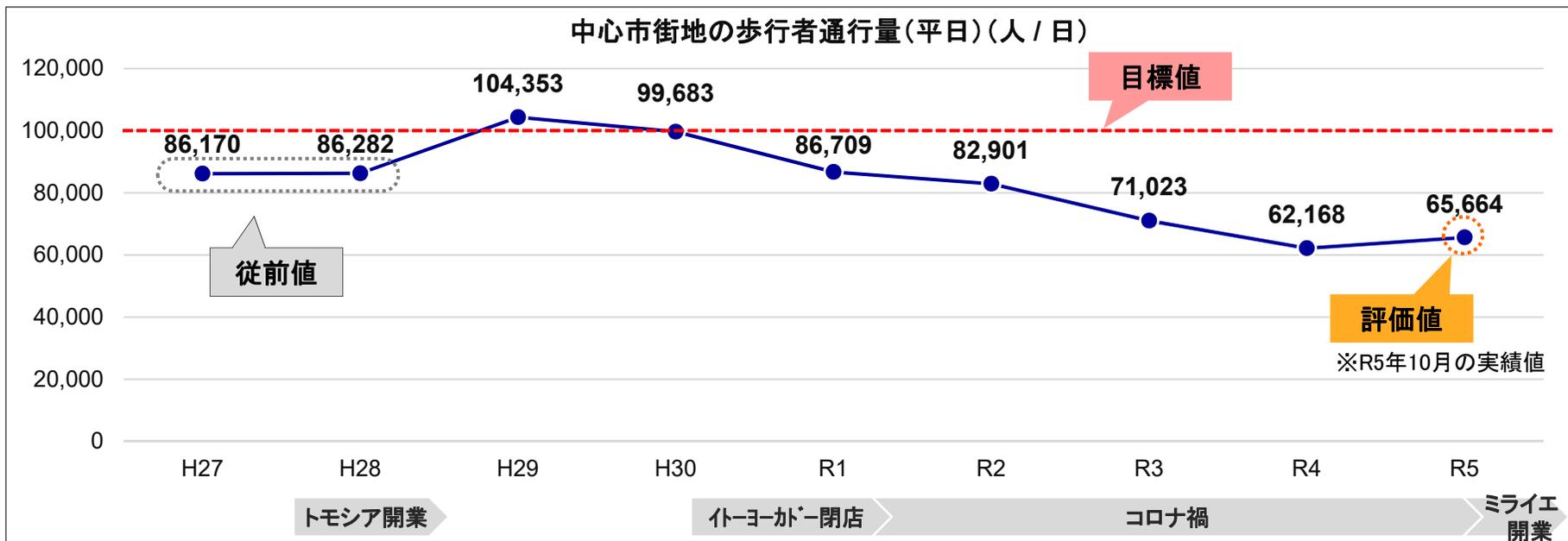
(1) 成果の達成度評価

【指標1】中心市街地における一日あたりの歩行者通行量(平日)

確定値

従前値	目標値(R5)	評価値(R5)
H28: 86,282人/日 H27: 86,170人/日	100,000人/日	65,664人/日
		達成度 ×

- 平成28年11月に社会福祉センター「トモシア」がオープンしたことで、平成29、30年度は目標数を達成した。
- 平成31年2月の駅前イトーヨーカドーの閉店、令和2年1月以降の新型コロナウイルスの影響で歩行者数が減少傾向に転じた。
- 中心市街地における一日あたりの歩行者通行量は平成30年度以降減少傾向にあったが、令和5年にミライエ長岡が開業する等各種事業の実施により、令和5年度は下げ止まりとなり、回復傾向にある。



(1) 成果の達成度評価

【その他指標1】中心市街地における一日あたりの歩行者通行量(休日)

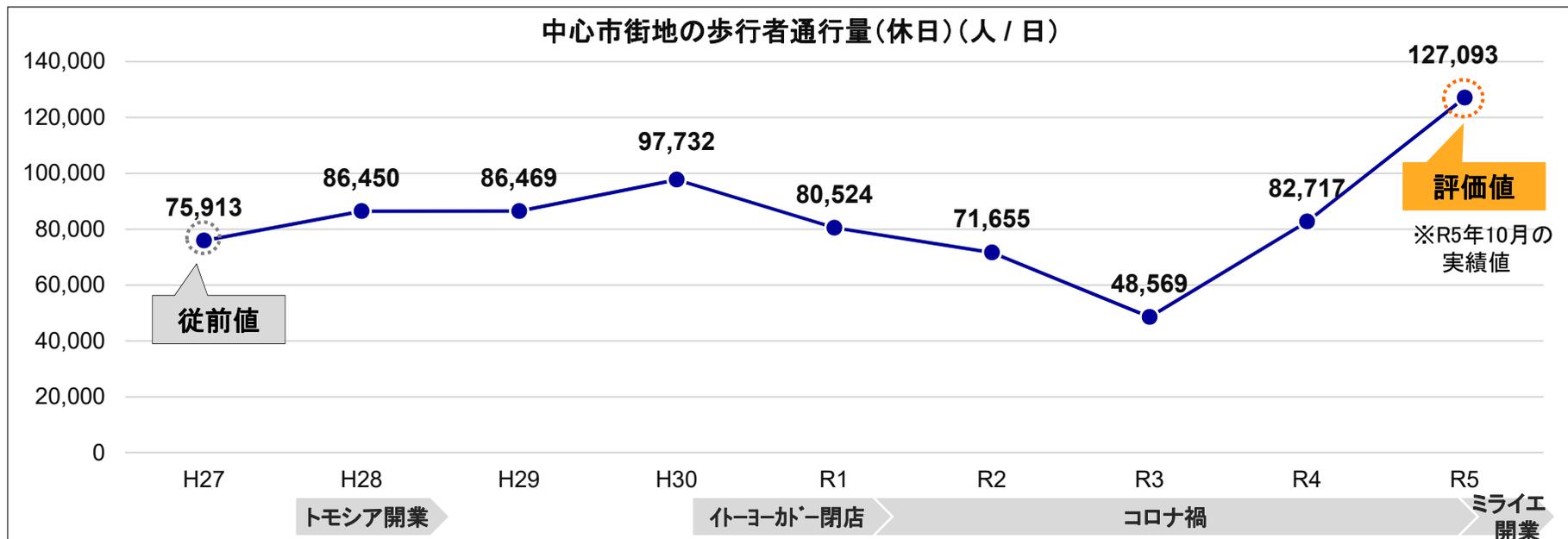
確定値

従前値(H27)
75,913人/日

評価値(R5)
127,093人/日



- 平成28年11月に社会福祉センター「トモシア」がオープンしたことで、平成30年度の歩行者通行量(休日)が多くなった。
- 平成31年2月の駅前イトーヨーカドーの閉店、令和2年1月以降の新型コロナウイルスの影響で歩行者交通量(休日)が減少傾向に転じた。
- コロナ禍が明け、令和5年度にミライエ長岡が開業したことで、大きく歩行者交通量(休日)が増加した。



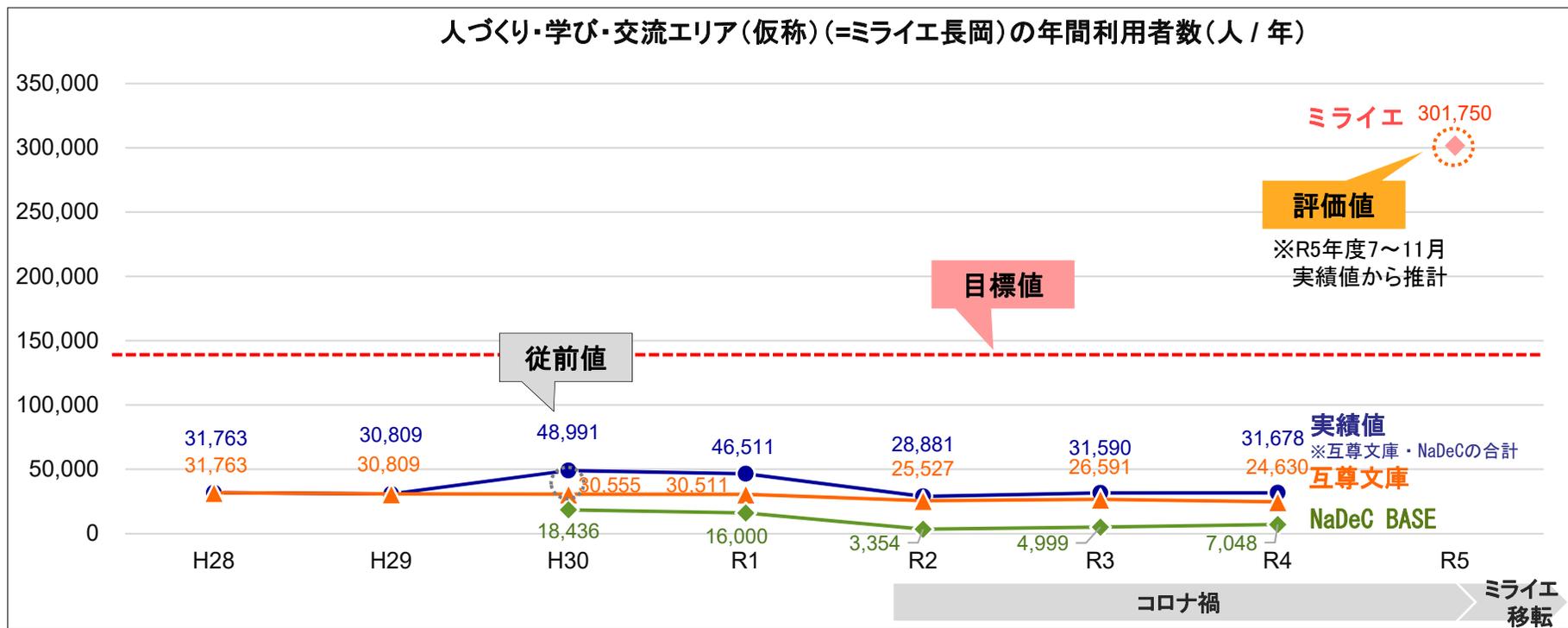
(1) 成果の達成度評価

【指標2】人づくり・学び・交流エリア(仮称)の年間利用者数

見込値

従前値(H27)	目標値(R5)	評価値(R5)
51,691人/年 ※NaDeC BASEがオープンした平成30年度の数値であり、一部期間の利用者数を用いて推定した値	146,100人/年	301,750人/年
		達成度 ○

- 新型コロナウイルスの影響で令和2年度～令和3年度の利用者数が減少した。
- 令和5年度に両施設がミライエ長岡に移転したことで、大きく利用者が増加した。



(1) 成果の達成度評価

【指標3】中心市街地内の起業数

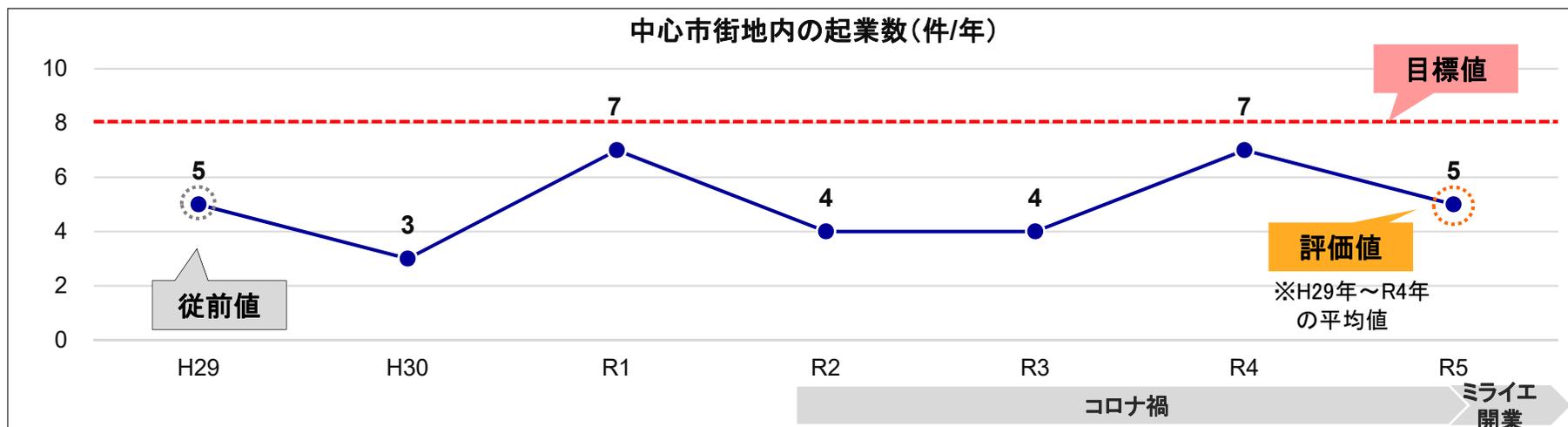
見込値

従前値 (H29)	目標値 (R5)
5件/年	8件/年

評価値 (R5)
5件/年

達成度
×

- 令和元年度は、平成30年度から、4大学1高専を中心とした学生、若者をターゲットとした起業支援施策を重点的に講じてきたことにより、中心市街地内の起業数が順調に増加した。
- 新型コロナウイルスの影響で令和2年度～令和3年度の起業数が減少した。
- 令和4年度は、コロナ禍が明け、対面による起業の個別相談やセミナー、イベント等の開催が再開したことにより、顔を突き合わせた密なやり取りが可能となるとともに、イベント参加者同士のネットワーク形成も促進され、事業効果が高まったことで起業数の増加につながった。



(1) 成果の達成度評価

【その他指標2】CLIP長岡の相談件数

見込値

従前値(H26)

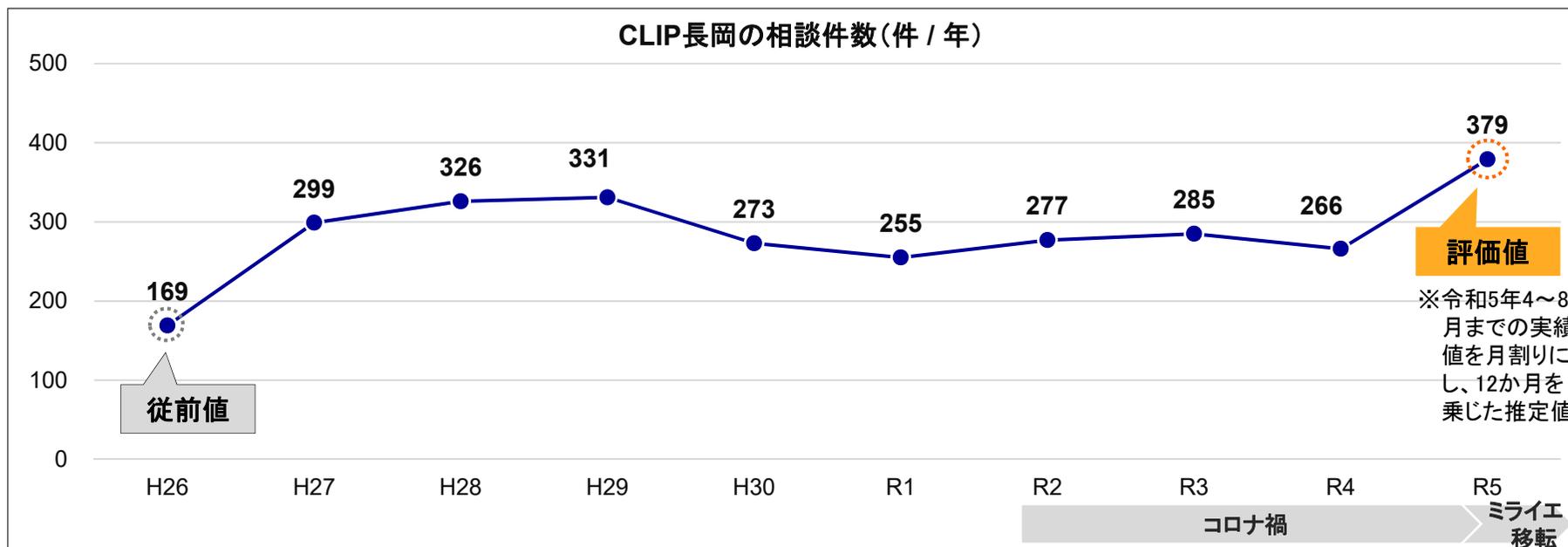
169件/年

評価値(R5)

379件/年

達成度
○

- 長岡市や各金融機関・長岡商工会議所との連携を強みとして、安定的に相談件数を維持してきた。



(1) 成果の達成度評価

【指標4】中心市街地における居住人口

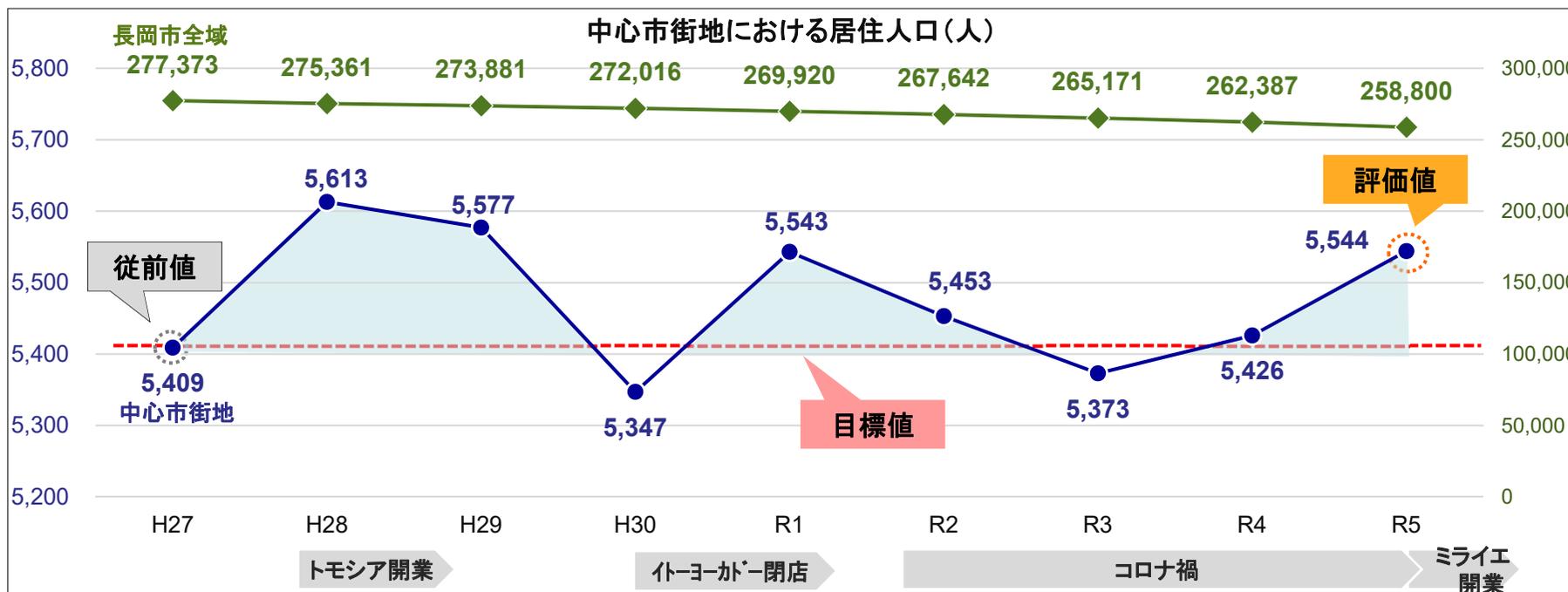
見込値

従前値(H27)	目標値(R5)
5,409人	5,409人

評価値(R5)
5,544人

達成度
○

- 平成28年度にオープンしたながおか町口御門等の開発に加え、民間投資が増加したことで、長岡市全域の人口が減少傾向にある中、中心市街地における居住人口は横ばいとなった。
- まちなか定住促進事業の実施もまちなかの居住人口の維持に寄与した。



※評価値: R5年4月～12月までの長岡市中心市街地活性化基本計画(第2期計画)範囲の居住人口動向の傾向を基に算出

(1) 成果の達成度評価

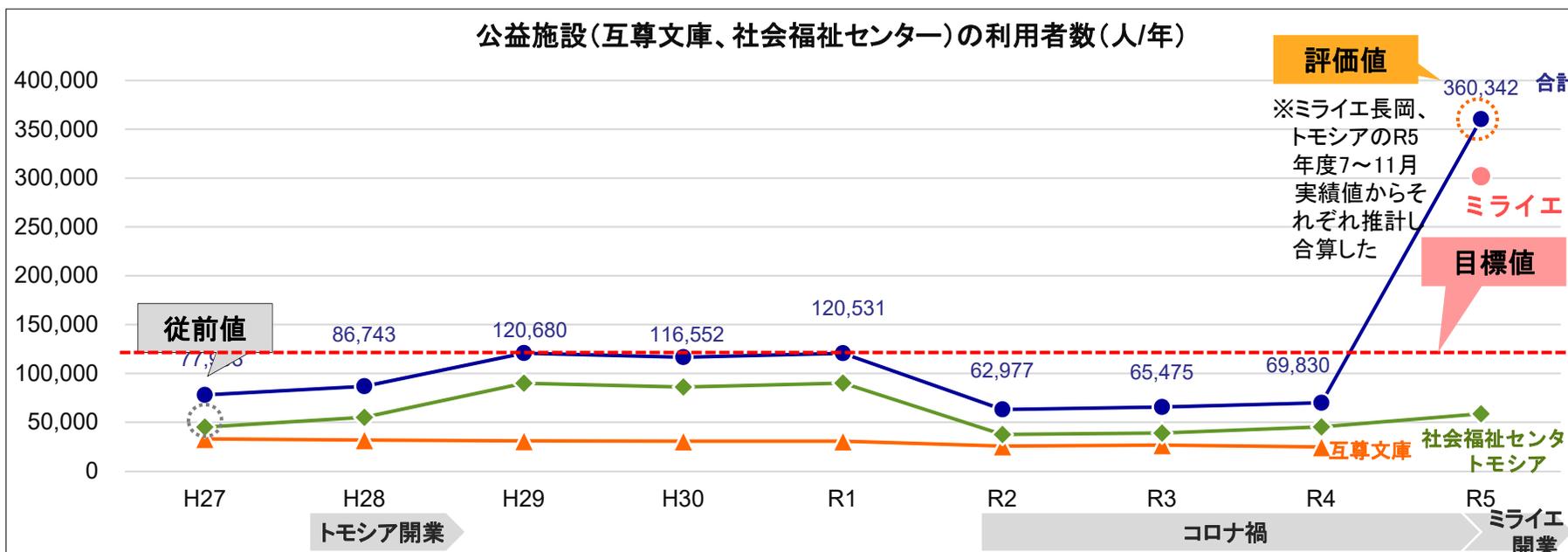
【指標5】中心市街地における公益施設(互尊文庫、社会福祉センター)の利用者数

見込値

従前値 (H27)	目標値 (R5)	評価値 (R5)
77,903人/年	120,000人/年	360,342人/年

達成度
○

- 平成28年11月に社会福祉センターが移転し、新施設(トモシア)がオープンしたことで、利用者が大きく増加し、平成29、令和元年度は目標数を達成した。
- 令和2年1月以降の新型コロナウイルスの影響で利用者数が減少傾向に転じたものの、令和5年度に互尊文庫がミライエ長岡に移転したことで、大きく利用者が増加した。



(2) 事業の効果発現要因

● I 長岡市中心市街地地区整備計画(H30～R4)

都市再生整備

都市構造再編

ウォーカーブル

	指標1 中心市街地における 一日あたりの 歩行者通行量(平日)	指標2 人づくり・学び・交流エリア (仮称)の 年間利用者数	指標3 中心市街地内の 起業数	その他指標1 中心市街地における 一日あたりの 歩行者通行量(休日)	その他指標2 CLIP長岡の相談件数
駐車場案内システム改善事業	○	◎	○	○	○
米百俵広場(仮称)整備事業	◎	○	—	◎	—
歩行者通行量画像解析カメラ整備事業	◎	○	○	◎	○
まちなか観光交流センター(仮称)整備事業	◎	○	○	◎	○
産学連携情報交流センター(仮称)整備事業	◎	◎	◎	◎	◎
まちなか図書館(仮称)整備事業	◎	◎	○	◎	○
歴史人物史展示整備事業	◎	○	—	◎	—
多世代交流拠点整備検討調査事業ほか	◎	◎	◎	◎	◎
立地適正化計画作成支援事業	◎	◎	○	◎	○
店ちか駐輪場設置社会実験事業	◎	○	○	◎	○
まちなか歩行者誘導サイン整備社会実験事業	◎	○	○	◎	○

◎ 指標の改善に直接的に関係 ○ 指標の改善に間接的に関係 — 事業と指標の間に関係が無い。

(2) 事業の効果発現要因

● II 長岡の未来を創造する、魅力あふれるまちづくり(重点計画) (H29~R5)

住宅

	指標1 中心市街地における 一日あたりの 歩行者通行量(平日)	指標4 中心市街地における 居住人口	指標5 中心市街地における 公益施設の利用者数	その他指標1 中心市街地における 一日あたりの 歩行者通行量(休日)
大手通坂之上町地区第一種市街地再 開発事業	◎	◎	◎	◎
優良建築物等整備事業 (大手通界限D地区)	◎	○	○	◎
基本計画等作成等事業 (大手通表町東地区)	◎	◎	◎	◎
防災・省エネまちづくり緊急促進事業 (大手通坂之上町地区)	◎	◎	◎	◎

◎ 指標の改善に直接的に関係

○ 指標の改善に間接的に関係

— 事業と指標の間に関係が無し

(3) 定量的指標以外の交付対象事業の効果

●ミライエ長岡の利用状況



3. 今後の社会資本整備の方策にか かかる審議

(1) 今後の社会資本整備の方策

● I 長岡市中心市街地地区整備計画(H30～R4)

都市再生整備

都市構造再編

ウォークアブル

事業前の課題(1)	まちの課題の変化		効果持続方策 改善方策	今後予定している 事業
<p>アオーレ長岡やまちなかキャンパスなど個々の施設利用者は増加しているが、中心市街地全体への人の回遊性が乏しい。</p> <p>このため、大手通表町東地区においては、新たな「まちなか型公共サービス」を導入し、アオーレ長岡周辺と相互に連携する「新たな核づくり」に取組み、まちなかでの商業機能の拡充や回遊の仕掛けづくり、居場所づくりが必要である。</p>	<p>達成されたこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和5年度にミライエ長岡が開業し、互尊文庫及びNaDeC BASEが移転し拡張されたことで、多くの市民に利用されることとなり、中心市街地における市民の居場所づくりの一助となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ミライエ長岡を中心とし、中心市街地における市民の居場所づくりを引き続き実施する。 ● 中心市街地全体でも回遊性を高める取り組みを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ミライエ長岡などまちなかに関する情報の発信 ● アオーレ長岡、まちなかキャンパス等、ミライエ長岡以外の場所でのイベント開催及び情報発信 ● 各施設間で連携したイベント・取組の実施 ● ミライエ長岡東館の整備
	<p>残された課題 新たな課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 中心市街地における一日あたりの歩行者通行量(平日)は、平成27年度～令和5年度の間で最も多かった平成29年度の6割程度となっており、中心市街地内での回遊が十分とは言えない。 		

(1) 今後の社会資本整備の方策

● I 長岡市中心市街地地区整備計画(H30～R4)

都市再生整備

都市構造再編

ウォークアブル

事業前の課題(2)	まちの課題の変化		効果持続方策 改善方策	今後予定している 事業
<p>中心市街地に不足している都市的サービス(「教育」、「歴史」、「文化」など)を導入し、都市的機能を充実させることにより、まちなかのにぎわいを全市へと波及することが求められている。</p>	<p>達成されたこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和5年度のミライエ長岡開業に伴い、互尊文庫が同施設内に移転したことで、「教育」に関する都市的サービスを楽しやすくなった。 ● ミライエ長岡に「しるみる米百俵」、第四北越銀行に「第四北越ミュージアム」が新設されたことで、「歴史」、「文化」を伝える都市的サービスも充実した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ミライエ長岡の開業で充実した「教育」、「歴史」、「文化」に関する都市的サービスの利用を全市で促進していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内小中学校の校外学習による利用促進 ● ミライエ長岡でのイベント開催及び情報発信 ● ミライエ長岡東館の整備
	<p>残された課題 新たな課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 取組の全市へのさらなる波及。 		

(1) 今後の社会資本整備の方策

● I 長岡市中心市街地地区整備計画(H30～R4)

都市再生整備

都市構造再編

ウォークアブル

事業前の課題(3)	まちの課題の変化		効果持続方策 改善方策	今後予定している 事業
来街者に対してやさしい交通の誘導、利便性の高い公共交通が必要である。	達成されたこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 店ちか駐輪場設置社会実験事業(駐車枠や路面標示)により、歩行者の安全確保の効果を検証した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車利用者に対する啓蒙活動を推進する。 ● 民間駐車場の管理者に対して、PR活動を推進する。 ● 公共交通利用者のニーズに合わせた決済方法を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 駐輪場の設置 ● 駐車場案内システムの導入、案内表示板の改修 ● 新しい技術を活用した、公共交通キャッシュレス決済事業
	残された課題 新たな課題	<ul style="list-style-type: none"> ● まちなかの駐車場において、利便性向上及び円滑な誘導を推進する。 ● 公共交通において、キャッシュレス決済を導入し、利用者の利便性向上を図る。 		

(1) 今後の社会資本整備の方策

● I 長岡市中心市街地地区整備計画(H30～R4)

都市再生整備

都市構造再編

ウォークアブル

事業前の課題(4)	まちの課題の変化		効果持続方策 改善方策	今後予定している 事業
<p>人口減少、少子高齢化社会を迎え、これからは将来を担う子どもや若者が活躍できるまちなかの拠点が必要である。(技術革新によって長岡の産業を活性化し、若者が起業・創業できるまち)</p>	達成されたこと	<ul style="list-style-type: none"> ● NaDeC BASEがミライエ長岡に移転し、利用者が増え、新たな産業の創出や起業に寄与するような、人的交流の機会が増大した。 ● ミライエ長岡において、ミライエクリエイティブキッズなど、子どもの創造力育成に関する取組が盛んに実施された。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ミライエ長岡を将来を担う子どもや若者が活躍できるまちなかの拠点として位置づけ、引き続き若者の起業・創業に繋がる取組や子供の創造性を育てる取組を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ミライエクリエイティブキッズなど各種イベント・事業の情報発信 ● 起業・創業に係るイベントの実施 ● 東館に中高生の居場所であるティーンズラボ(仮称)を整備 ● ミライエ長岡東館の整備
	残された課題 新たな課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 中心市街地での起業数のさらなる増加。 		

(1) 今後の社会資本整備の方策

● II 長岡の未来を創造する、魅力あふれるまちづくり(重点計画) (H29~R5)

住宅

事業前の課題(1)	まちの課題の変化		効果持続方策 改善方策	今後予定している 事業
未更新の建物の耐震性・耐火性など防災面の問題のほか、都市機能の陳腐化・空洞化が進んでおり、総じて老朽化が進んでいる状況にある。	達成されたこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 大手通坂之上町地区市街地再開発事業の4街区のうち3街区が竣工し、都市機能の更新が進んだ。 ● 民間主体による施設整備が一部達成された。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大手通坂之上町地区市街地再開発事業を計画どおりに実施することで、核的施設の整備を推進する。 ● 民間による施設の建て替え、共同化を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大手通坂之上町地区市街地再開発事業(B街区) ● 新規の民間主体による再開発の支援 ● まちなか建物更新等支援事業(基本計画等作成等事業、優良建築物等整備事業) ● 再開発を検討している団体が行う研究会や視察調査等への支援 ● 支援制度に関する相談窓口の設置、PR
	残された課題 新たな課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 大手通坂之上町地区の残る1街区(B街区)が未完成。 ● 公共施設の整備だけではなく、より一層の民間主体による施設整備。 		

(1) 今後の社会資本整備の方策

● II 長岡の未来を創造する、魅力あふれるまちづくり(重点計画) (H29～R5)

住宅

事業前の課題(2)	まちの課題の変化		効果持続方策 改善方策	今後予定している 事業
<p>JR長岡駅及びアオーレ長岡周辺の来街者は増加したものの、その波及効果が中心市街地全体に広がっていない。このため、アオーレ長岡とともにまちなかの回遊性つくりだす新たな核的施設整備が必要である。</p>	達成されたこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 大手通坂之上町地区市街地再開発事業の4街区のうち3街区が竣工し、新たな核的施設としてミライエ長岡を整備した。 ● 民間主体による施設整備が一部達成された。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大手通坂之上町地区市街地再開発事業を計画どおりに実施することで、核的施設の整備を推進する。 ● 民間による施設の建て替え、共同化を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大手通坂之上町地区市街地再開発事業(B街区) ● ミライエ長岡などまちなかに関する情報の発信 ● アオーレ長岡、まちなかキャンパス等、ミライエ長岡以外の場所でのイベント開催及び情報発信 ● 各施設間で連携したイベント・取組の実施 ● ミライエクリエイティブキッズなど各種イベント・事業の情報発信 ● 起業・創業に係るイベントの実施
	残された課題 新たな課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 大手通坂之上町地区の残る1街区(B街区)が未完成。 ● 公共施設の整備だけではなく、より一層の民間主体による施設整備。 		

(2) フォローアップ計画

見込値(推定による値)の指標について、関連する事業の完了後にフォローアップ(再計測)を実施し、確定値とする。

● フォローアップ対象指標

I 長岡市中心市街地地区整備計画(H30~R4)

都市再生整備

都市構造再編

ウォークアブル

指標	単位	従前値 (年度)	目標値 (R5)	評価値 (R5)	達成度	フォローアップ 予定時期
【指標2】 人づくり・学び・交流エリア(仮称)の 年間利用者数	人 / 年	51,691 (H28)	146,100	301,750	○	令和6年秋頃
【指標3】 中心市街地内の起業数	件 / 年	5 (H29)	8	5	×	令和6年秋頃

II 長岡の未来を創造する、魅力あふれるまちづくり(重点計画)(H29~R5)

住宅

指標	単位	従前値 (年度)	目標値 (R5)	評価値 (R5)	達成度	フォローアップ 予定時期
【指標4】 中心市街地における居住人口	人	5,409 (H27)	5,409	5,544	○	令和6年4月頃
【指標5】 中心市街地における公益施設の 利用者数	人 / 年	77,903 (H27)	120,000	360,342	○	令和6年秋頃

II その他

指標	単位	従前値 (年度)	目標値 (R5)	評価値 (R5)	達成度	フォローアップ 予定時期
【その他指標2】 CLIP長岡の相談件数	件 / 年	169 (H26)	—	379	○	令和6年秋頃